## ゲームのように危険個所点検　～子どもと一緒に災害疑似体験～

「避難訓練をします。今大きな地震がありました。揺れがおさまったので安全を確認しながら避難します。歩いているときも揺れると思うけど危ないと思うところがあったら教えてね。では出発します！」。「わかった！！」元気な子どもたちの返事で出発しました。ドアを開けたとたん、「壁にひびが入ってる！！」

10月18日木曜日夜８時、えんの災害時疑似体験。自宅から職場までの道すがら危険個所を点検しながら夜道を歩いてみる、という訓練です。災害を想定して歩くだけで、普段見なれた通学路通勤路がこんなにも違って見えるの？とただ驚くばかりでした。

家の壁に取り付けているエアコンの室外機、道路標識、電柱、電線、手作りの野菜の無人販売スタンド、コンビニの看板…。子どもの方が怖いと感じるものが多いのにビックリ。古い信号機は大きくてゴチャゴチャしているけど、新しいのは薄くてスッキリしてる！　畑や駐車場は広くて上に何もないから逃げ場所にいいね。大人では気づかないことを次々発見してくれます。まるでゲームのように災害時のことを話しながら夜道を歩くことができました。もし、親がいないときでも、とっさに安全な場所に逃げられる。頭で考えたり、言葉で伝えるよりも、体験したことで、具体的に身についた訓練となりました。

いつ大地震や大型台風がきてもおかしくない状況です。皆さんも、今ここで地震が起きたら、と少し周りを見回してください。それだけでも、きっとよい備えになる、そう思える体験でした。　（ケアサポートえん／M）

